

住民が交流する場づくりを

富浦協働つうしん

11月11日(木)

第三回「富浦の地域づくりを 考える会」を開催

市役所大会議室で十月二十日、第三回「富浦を考える会」が開かれました。ゆたかな地域づくりに向け、30代〜70代の市民29名が参加しました。

参加者は、七班に分かれ、九月に話し合った「富浦の宝と課題」についての取り組み方法等を見直し、「自分達でできること」と「他の団体と協力してできること」等に区分けしました。その結果、取り組み方法がよく整理され、今後の活動方向も明らかになってきました。例えば、自分達でできることとしては、「定期的な海岸掃除」、他の団体と協力してできることとしては、町民大会、マラソン大会の復活等でした。



富浦保育所の
運動会
(園児と住民の
ふれあいの場)



今回は、アンケートとヒアリング結果をもとに、班の再編制を行い、十一月下旬、新たな班による話し合いと、地域づくり協議会準備委員会の方向性を検討致します。多くの方々の参加をお待ちしております。



参加者の声

原岡在住

松岡さん

富浦の観光拠点周辺も雑草が茂っている。積極的に、草刈り等の環境美化活動に参加していきたい。



七五三の祝い

取り組み方法を見直し、区分けする参加者

市民の交流の場づくり

Aさん 富浦合同祭を開催する。

Bさん 将棋等、趣味のサークルを増やす。

Cさん 地域毎に住民が集まれる場所を設ける。

取り組み方法等を整理し、発表する参加者

「富浦をきれいにしよう」

Dさん 道路沿いの花壇を復活する。
Eさん ごみ袋をキャンプ場利用者にも
買ってもらおう。

富浦の現状

転入・転出者の推移

近年、富浦の転入・転出者数は、図1の通り横ばいを続けています。今後、転入者数が大幅に増加し、富浦の人口の増加に寄与するとは予測しがたい状況です。富浦の課題と今後の対応を皆さんと一緒に考えてみませんか。

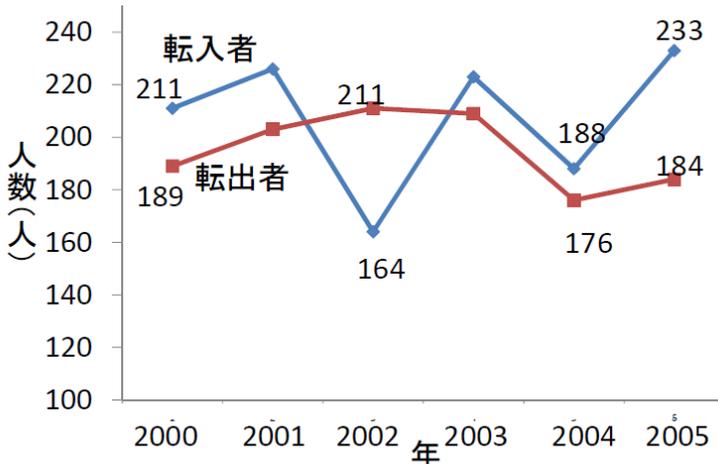


図1. 富浦町の転入、転出者の推移

行事予定

11月24日(水) 13時、オリンピック金メダリスト谷本歩実選手の講演と柔道の実技指導(富浦中修武館での富浦中学校教育ミニ集会にて)

11月27日(土) 14時30分、富浦中学校PTAバザー(南房総市富浦体育館にて)

楽しい国際交流の場

英語のセンスを磨く中学生

Kim Hendersenさん(ALT)と英語の授業を楽しむ富浦の中学生。今後、国際感覚を持った社会人への成長が期待されます。



富浦の昔ばなし

〜御上り御降り〜

籠りは昔、若者達の楽しい交流の場

陰暦の十月は神無月と言いますが、それは全国の八百万の神様が島根の出雲大社(祭神大国主命)へ御集まりになるため、出雲以外は神様不在となるからです。何千年も前の神代から続いている出雲大社の神事ですが、御集まりになった神様の一番の御仕事は、まだ結婚していない若い男女の縁結びです。ですから、神様が出雲へ御上りになる日、神社へ籠り、祈願すれば、神様は出雲で赤い色の丈夫な麻の糸で、男女の縁を繋いでくださるのです。

そのような事から、昔は神様が出雲へ御上りになる九月三十日と、地元の神社へ御降りになる十月三十一日は、町中の神社で若者達(青年会)が集まり、夜明かしで籠りを行ったのです。と言っても若者達の事ですから、真面目に一晚中、神様に祈願していた訳ではありません。持ち寄った肴で大酒を飲みながら、民謡を歌ったり、冗談話をしたり、また、夜食用に他人の家の柿や蜜柑を失敬に出掛ける者達もいました。当然、神様の御利益の無い者も出て来ますが、若者達には天下御免の楽しい籠りだったのです。

著者 生稲謹爾氏

